

# 相模原公園管理運営方針

私たち神奈川県公園協会・サカタのタネ・サカタのタネ GS グループは、本公園を管理運営するものとして、

## 花とみどりの豊かなパークライフ 第2章 ～心に花を咲かせる～

を管理運営方針とし、以下3つの柱だてをし、具体的な取り組みを進めていきます。

### ① 心の花壇づくり

～ 県民の「やってみたい」をサポートする取組を強化し、県民や地域と協働した公園づくりの積極的に取り組みます ～

公園を訪れた人々の心に花が咲き、多くの花が集まって、心の花壇ができるよう、新規プログラムの開催、子育て支援の充実、多様なメディアを活用した広報を展開するほか、県民自らが主体的にプログラムの企画・運営に携われる仕組みづくりや、県民や地域と協働した公園づくりに積極的に取り組みます。

### ② 魅力ある景観づくり

～ 各ゾーンの特性を生かして花と緑と水で彩ります ～

相模原公園は、噴水を中心とした洋風庭園ゾーン、広大な芝生のある広場ゾーン、みどり豊かな樹林地ゾーン、菖蒲で有名な水無月園ゾーン、親水(せせらぎの園)ゾーンなど、様々な特徴を持つゾーンで構成されています。開園や再整備から長期間が経過していることに伴う、樹林の高木化・成熟化による倒木リスクの増大等の諸課題にも適切に対応しながら、各ゾーンの特徴を生かした花とみどりと水の魅力ある景観づくりに取り組みます。

### ③ 緑の情報発信

～ ニーズの多様化に沿った都市緑化の拠点づくりを進めます ～

都市緑化フェアの理念を継承し、都市緑化植物園として緑への関心を高めるとともに、緑の人材育成に向け、初心者からプロまで多様なニーズに沿った緑の普及啓発等の取組を進めます。